

※前年比は2025年8月7日～8月16日を対象とした2025年8月17日時点の数字と比較

※各数値は、JALグループ運航分のうち、他社による販売分を含めています。(他社運航便のうちコードシェアによる自社販売分を除く。)

1. ご利用実績(国内線・国際線)

国内線		提供座席数	総旅客数	搭乗率
2026年度 上下線合計	合計	1,264,263席 (前年比 97.0%)	1,098,816人 (前年比 94.2%)	86.9%
	JAL便(*1)	1,162,489席 (前年比 99.8%)	1,016,407人 (前年比 96.7%)	87.4%
	JTA便(*2)	86,580席 (前年比 73.5%)	72,153人 (前年比 71.2%)	83.3%
	RAC便(*3)	15,194席 (前年比 71.8%)	10,256人 (前年比 71.3%)	67.5%
2025年度 上下線合計	合計	1,304,010席	1,166,797人	89.5%
	JAL便(*1)	1,165,126席	1,051,123人	90.2%
	JTA便(*2)	117,735席	101,296人	86.0%
	RAC便(*3)	21,149席	14,378人	68.0%

(*1)JAL/J-AIR/JAC/HAC/JTA運航 (*2)日本トランスオーシャン航空 (*3)琉球エアコミューター

国際線		提供座席数	総旅客数	搭乗率
2026年度 日本発着合計	JAL便、JTA便	254,589席 (前年比 97.2%)	211,955人 (前年比 91.9%)	83.3%
2025年度 日本発着合計	JAL便	261,992席	230,743人	88.1%

2. 臨時便・チャーター便運航実績

		運航実績	前年同期間の運航実績
国内線	JAL便	福岡＝鹿児島 計76便 羽田＝那覇 計1便	合計2便 羽田＝山形線2便
	JTA便	なし	合計54便 関西＝那覇20便、中部＝那覇線20便、 福岡＝那覇14便
	RAC便	なし	なし
国際線		なし	合計14便 成田＝ホノルル線14便

3. 詳細なご利用実績(国内線) ※JAL便・JTA便・RAC便の合計にて算出

(1)概況

- 台風影響により沖縄方面を中心に約470便の欠航が発生しましたが、お盆期間としての搭乗率は86.9%となりました。また、下りのピークは8月8日、上りのピークは8月16日でした。
- 方面別では北海道方面が特に好調で、旅客数は前年比108.1%となりました。また、北海道方面・関西方面においては、搭乗率が90%以上となりました。
- 令和8年熊本地震をうけて、九州地方域内の移動手段確保のため、お盆期間についても福岡＝鹿児島線において計76便の臨時便を設定しました。

(2)方面別

	提供座席数(席)	提供座席数 前年比(%)	総旅客数(人)	総旅客数 前年比(%)	搭乗率(%)
北海道方面	303,468	106.6%	274,561	108.1%	90.5%
東北・北陸方面	108,739	94.0%	96,127	90.9%	88.4%
関西方面	111,714	99.3%	100,766	96.3%	90.2%
中国・四国方面	182,804	99.4%	156,141	94.8%	85.4%
九州方面	349,650	101.9%	296,719	97.4%	84.9%
沖縄方面	207,888	78.7%	174,502	74.8%	83.9%
計	1,264,263	97.0%	1,098,816	94.2%	86.9%

※各方面に含まれる路線は最下部に記載

(3)日別搭乗率(%)

	8/7(金)	8/8(土)	8/9(日)	8/10(月)	8/11(火)	8/12(水)
下り	92.4	<u>94.2</u>	91.8	91.4	90.0	93.9
上り	85.0	83.6	81.4	76.3	73.5	85.0

	8/13(木)	8/14(金)	8/15(土)	8/16(日)	計
下り	88.2	83.8	82.6	87.8	89.4
上り	86.9	87.9	90.0	<u>94.1</u>	84.4

4. 詳細なご利用実績(国際線) ※JAL便・JTA便の合計にて算出

(1)概況

- 台風影響により東アジア方面を中心に計22便が欠航しましたが、お盆期間としての搭乗率は83.3%となりました。また、日本出発のピークは8月8日、日本到着のピークは8月15日でした。
- 方面別の旅客数ではいずれも前年を下回るものの、ハワイ・グアム方面において、前年を1.5pt上回る搭乗率となりました。

(2)方面別（日本発着合計）※コードシェア便を含む

	提供座席数(席)	提供座席数 前年比(%)	総旅客数(人)	総旅客数 前年比(%)	搭乗率(%)
北米	60,708	98.6%	49,112	92.8%	80.9%
欧州・中東	21,134	83.9%	17,759	76.3%	84.0%
東南アジア・オセアニア	74,995	101.6%	57,898	90.4%	77.2%
東アジア	70,672	98.6%	63,562	97.7%	89.9%
ハワイ・グアム	27,080	91.2%	23,624	92.9%	87.2%
計	254,589	97.2%	211,955	91.9%	83.3%

※各方面に含まれる路線は最下部に記載

(3)日別搭乗率(%)

	8/7(金)	8/8(土)	8/9(日)	8/10(月)	8/11(火)	8/12(水)
日本発	91.7	<u>95.5</u>	92.2	86.9	88.4	84.0
日本着	79.1	77.5	71.2	69.4	73.5	79.4

	8/13(木)	8/14(金)	8/15(土)	8/16(日)	計
日本発	79.4	76.0	76.8	83.7	85.4
日本着	84.3	90.7	<u>93.8</u>	91.2	81.2

<参考資料:方面、都市の分類について>

※季節運航などで対象期間中に運航がない場合があります

■国内線

※2025年12月22日時点

北海道方面	東北・北陸方面	中国・四国方面	九州方面	沖縄方面
東京＝札幌	東京＝青森	東京＝出雲	東京＝福岡	東京＝沖縄(那覇)
東京＝女満別	東京＝三沢	東京＝岡山	東京＝北九州	東京＝石垣
東京＝旭川	東京＝秋田	東京＝広島	東京＝長崎	東京＝宮古
東京＝釧路	東京＝山形	東京＝山口宇部	東京＝熊本	東京＝久米島
東京＝帯広	東京＝小松	東京＝徳島	東京＝大分	名古屋＝沖縄(那覇)
東京＝函館	大阪＝青森	東京＝高松	東京＝宮崎	大阪＝沖縄(那覇)
札幌＝女満別	大阪＝三沢	東京＝松山	東京＝鹿児島	大阪＝石垣
札幌＝青森	大阪＝花巻	東京＝高知	東京＝奄美大島	大阪＝宮古
札幌＝花巻	大阪＝仙台	大阪＝隠岐	大阪＝福岡	福岡＝沖縄(那覇)
札幌＝仙台	大阪＝秋田	大阪＝出雲	大阪＝長崎	沖縄(那覇)＝奄美大島
札幌＝秋田	大阪＝山形	大阪＝松山	大阪＝熊本	沖縄(那覇)＝沖永良部
札幌＝新潟	大阪＝新潟	福岡＝出雲	大阪＝大分	沖縄(那覇)＝与論
札幌＝広島	大阪＝松本	福岡＝徳島	大阪＝宮崎	沖縄(那覇)＝石垣
札幌＝女満別	関西方面	福岡＝松山	大阪＝鹿児島	沖縄(那覇)＝宮古
札幌＝奥尻		福岡＝高知	大阪＝種子島	沖縄(那覇)＝久米島
名古屋＝札幌	東京＝名古屋	出雲＝隠岐	大阪＝屋久島	沖縄(那覇)＝与那国
名古屋＝釧路	東京＝大阪	鹿児島＝松山	大阪＝奄美大島	沖縄(那覇)＝南大東
名古屋＝帯広	東京＝南紀白浜		大阪＝徳之島	沖縄(那覇)＝北大東
大阪＝札幌	大阪＝但馬		福岡＝宮崎	石垣＝宮古
大阪＝女満別			福岡＝鹿児島	石垣＝与那国
大阪＝旭川			福岡＝屋久島	宮古＝多良間
大阪＝函館			福岡＝奄美大島	岡山＝沖縄(那覇)
福岡＝札幌			鹿児島＝種子島	小松＝沖縄(那覇)
函館＝奥尻			鹿児島＝屋久島	
丘珠＝釧路			鹿児島＝喜界島	
丘珠＝三沢			鹿児島＝奄美大島	
丘珠＝函館			鹿児島＝徳之島	
丘珠＝利尻			鹿児島＝沖永良部	
丘珠＝根室中標津			鹿児島＝与論	
丘珠＝秋田			奄美大島＝喜界島	
出雲＝札幌			奄美大島＝徳之島	
徳島＝札幌			奄美大島＝与論	
			徳之島＝沖永良部	
			奄美大島＝沖永良部	
			沖永良部＝与論	

■国際線

北米

シカゴ、ダラス・フォートワース、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル、サンディエゴ、バンクーバー

欧州・中東

ロンドン、パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、ドーハ

東南アジア・オセアニア

シンガポール、クアラルンプール、デリー、ベンガルール、ジャカルタ、マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミンシティ、シドニー、メルボルン

東アジア

北京、大連、天津、上海(虹橋・浦東)、広州、香港、ソウル(金浦)、台北(桃園・松山)

ハワイ・グアム

ホノルル(オアフ島)、グアム